

畑中村長は「浜尻屋貝塚の骨角器は大変貴重なものであり、東通村の宝として大切に守っていきます。骨角器類87点は村の歴史民俗資料館で適切に保管し、歴史的価値の重要性などを学校教育の場などで積極的に活用していきたいと思います」と語りました。



浜尻屋貝塚から出土した動物骨などで作られた骨角器類87点が4月13日に県重宝（考古資料）に指定され、4月27日に青森県から文化財指定書が交付されました。県教育委員会文化財保護課の稲葉克徳課長らが東通村役場を訪れ、畑中稔朗村長に指定書を手渡しました。

浜尻屋貝塚出土骨角器類が県重宝に指定されました！

浜尻屋貝塚は尻屋崎の太平洋側にある遺跡で、室町時代（約600年前）の貝塚です。中世のアワビ貝塚として国内唯一の遺跡であるため、平成18年（2005年）に下北地方では初となる国の史跡に指定されています。



浜尻屋貝塚の航空写真



浜尻屋貝塚の写真



浜尻屋貝塚の骨角器



浜尻屋貝塚の陶器



発掘調査の様子



柱穴調査の様子



集石実測作業の様子